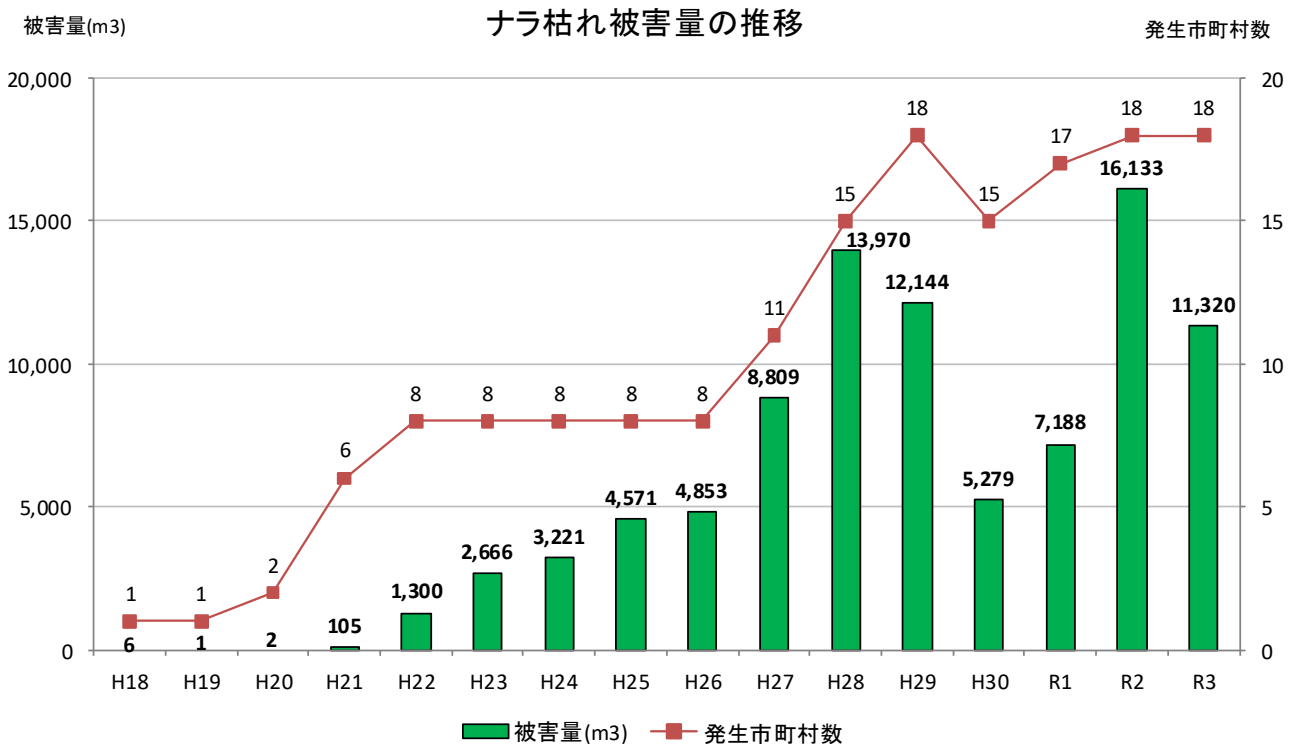


## ナラ枯れ被害の発生状況について

森林整備課

## 1 被害の発生状況

本県の民有林における令和3年度のナラ枯れ被害は18市町村で発生し、被害量は前年対比70%の11,320<sup>m</sup><sub>3</sub> (37,727本) に減少した。



## 2 被害量減少の主な要因

1月上旬の日平均気温が平年値より低く推移し、カシノナガキクイムシの幼虫の越冬生存率が低下したことに加え、8月中旬から9月中旬にかけて日平均気温が平年値より低く推移し、カシノナガキクイムシの飛翔、穿入が抑制されたと推測される。

## 3 今後の被害防止対策

気象条件等によっては、被害が再び拡大するおそれがあることから、引き続き、関係機関と連携し、次の対策に取り組んでいく。

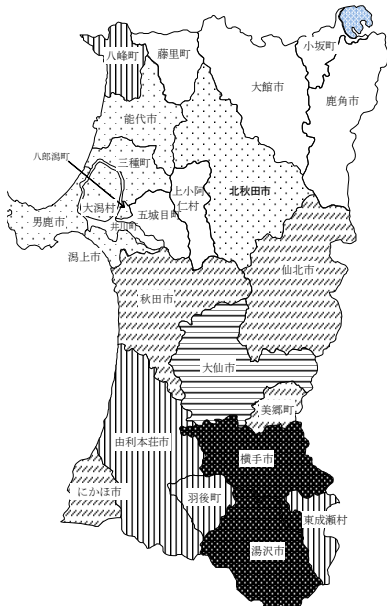
- ・ 守るべきナラ林において、被害の拡大を防止するため、被害木の伐倒駆除や未被害木の予防対策として薬剤の樹幹注入を実施
- ・ 被害を受けやすい老齢ナラ林の更新を促進

※守るべきナラ林とは

ナラ枯れ被害を受けることにより、国土の保全や景観、電線等のライフラインなどに重大な影響を及ぼすおそれがある森林公園、景勝地、道路沿線等の森林のうち市町村が指定した森林

【参考】

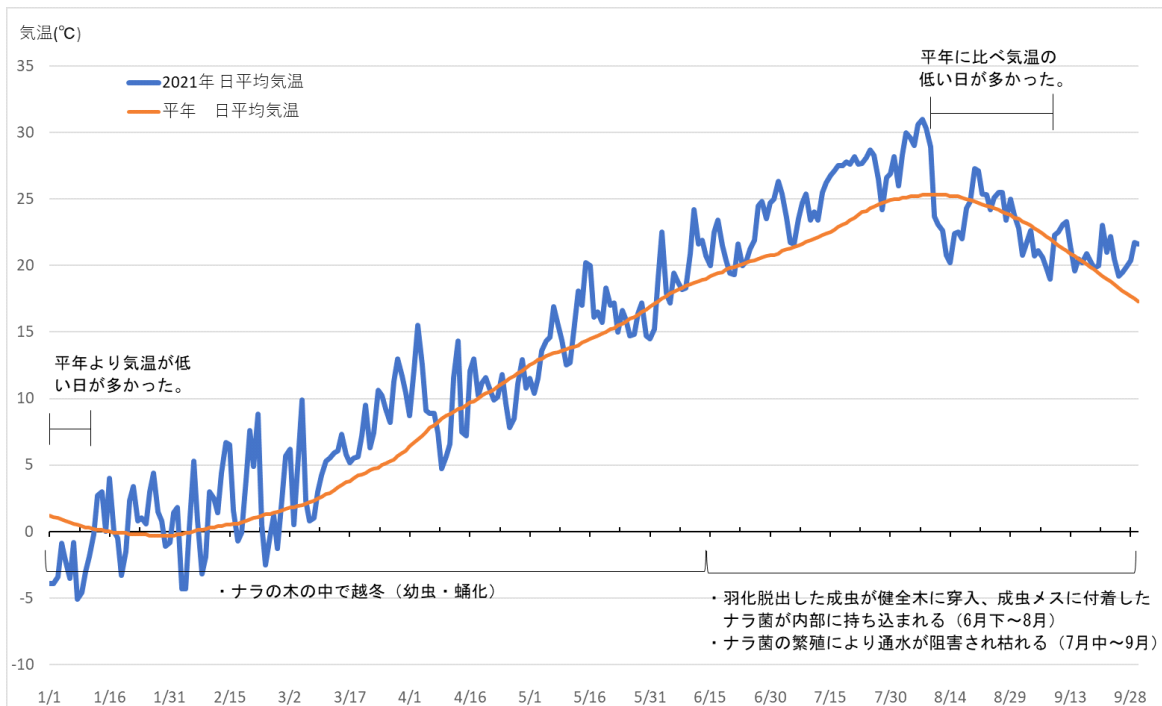
1 市町村別被害発生状況（令和3年度）



凡 例		市町村数
	2,000m <sup>3</sup> 以上	2
	1,000~2,000m <sup>3</sup> 未満	1
	500~1,000m <sup>3</sup> 未満	4
	100~500m <sup>3</sup> 未満	4
	1~100m <sup>3</sup> 未満	7
	なし	7

管内	被害量(m <sup>3</sup> )		対前年比
	R2	R3	
北秋田	62	10	16%
山本	2,980	883	30%
秋田	403	186	46%
由利	1,080	783	73%
仙北	2,036	1,865	92%
平鹿	4,493	3,936	88%
雄勝	5,079	3,657	72%
計	16,133	11,320	70%

2 日平均気温の経過（令和3年1月1日～9月30日）



3 ナラ枯れ被害防止対策の実施状況

区 分	R1(実績)		R2(実績)		R3(実績見込み)	
	事業量	事業費(千円)	事業量	事業費(千円)	事業量	事業費(千円)
樹幹注入(本)	2,483	9,250	1,341	6,025	2,121	9,960
伐倒駆除(m <sup>3</sup> )	174	4,383	230	7,674	145	7,040
ナラ林若返り対策(m <sup>3</sup> )	13,800	41,400	14,277	30,994	14,510	30,018
計		55,033		44,693		47,018